

令和3年4月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和3年4月26日(月) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教育長	山田公一	教育長職務代理者	山崎克弥
委員	中野信男	委員	秦久美子
委員	斎藤純郎	委員	小林恵子

4 説明のため出席した職員

教育次長	太田和行	主 幹	鈴木華奈子
学校教育課長	岡部清美	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	統括指導主事	五十嵐真紀子

5 本委員会書記

学校教育課 向井康弘 他2名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第2号 新規共催・後援申請について

議案

議案第 23 号 学校薬剤師の委嘱について

議案第 24 号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第 25 号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会委員の
委嘱について

議案第 26 号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について

議案第 27 号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の
委嘱について

議案第 28 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の
選任について

議案第 29 号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第 30 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

その他

(1) 令和3年第2回燕市議会臨時会について（教育委員会関係抜粋）

1) 専決処分の報告（令和2年度燕市一般会計補正予算）について

2) 令和3年度燕市一般会計補正予算について

3) 吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）の新しい料金体系（素案）
について

4) 閉園後の地蔵堂保育園・笈ヶ島保育園の利活用について

(2) 「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

(3) 「危機管理マニュアル（異物混入・食中毒・ノロウイルス）」の改訂
について

8 閉会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後1時30分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和3年3月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

キャリア教育研修会や Good Job つばめ推進事業実行委員会など、今年度のコロナ禍における特徴的な取組について教えていただきたい。

○統括指導主事（五十嵐真紀子）

今年度は例年どおり実施する予定で準備を行ってきた。事業所に対し受け入れ可能か調査を行ったところ 44 社の事業所から受け入れ可能との返事をいただいたが、現在のコロナの状況に鑑み、オンラインで実施する方向で現在調整中である。

○委員（斎藤 純郎）

コロナ禍で厳しい状況だが、工夫して取り組んでいただきたい。

(2) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 全国的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、新年度が始まった。各学校、園には、引き続き各施設における感染症対策の徹底を依頼した。
- 年度初めは、スタートとなる4月が一番大事になる。今年度も保護者との信頼関係を築きながら、園児・児童・生徒が健やかに成長できるよう、校長、園長に協力をお願いした。

2 4月の行事から

(1) 燕・弥彦科学教育センター運営協議会（4月12日（月））

- 令和3年度、燕・弥彦科学教育センター運営協議会を4月12日に燕市教育センターで開催した。
- 令和2年度の事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で、思うように事業

の実施ができず、中止となった研修会も多く、大勢の方々が訪れる「科学作品展・科学の祭典」も中止となった。

そのため、研修会に参加した小中学校の教員数は、令和元年度 887 人から令和 2 年度 114 人と、大幅に減少したが、開催した研修に力を入れたこともあり、主催研修の満足度調査では、「大変良い」が 100%であったとのことだった。

- 令和 3 年度は、オンラインによる研修会の実施も含め、例年同様の事業を計画している。なお、令和 3 年度の「科学作品展・科学の祭典」は、会場となる吉田産業会館が新型コロナウイルスのワクチン接種会場となるため使用できず、現時点では弥彦村総合コミュニティセンターで開催する予定。ワクチン接種の関係で弥彦村の会場も使用できない場合は、オンラインでの開催も含めて検討することとしている。
- 協議会では、令和 2 年度事業報告及び決算報告並びに令和 3 年度事業計画及び予算（案）について協議を行い、いずれも原案のとおり承認された。

(2) 燕さくらマラソン大会（4月17日（土））

- 本年度は、参加者を県内在住者に限って、燕さくらマラソン大会を4月17日に開催した。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となった。
- 当日は、あいにくの雨模様であったが、県内の多くのランナーが会場に集まり、健脚を競い合った。桜の花は、残念ながら終わっていたが、菜の花の黄色がランナーの目を楽しませてくれたものと思っている。
種目ごとの出場者数は、次のとおり。
ハーフマラソン男子：568 人、ハーフマラソン女子：92 人
10 km男子：268 人、10 km女子：129 人
3 km：143 人、
2 km：135 人
ウォーキング：56 人 合計で 1,391 人
- 大会の運営にあたっては、300 人を超える方々からスタッフとしてご協力をいただいた。ご協力をいただいた方々に、改めて感謝申し上げたい。

(3) 全県教育長会議（4月19日（月））

- 全県教育長会議が、4月19日に新潟県自治会館の講堂で開催された。
- 冒頭のあいさつでは、稲荷県教育長から、新型コロナ対策、学力向上、いじめ対策の徹底、教職員の多忙化解消、教職員の綱紀の保持の5点について話があった。
- この後、義務教育課、高等学校教育課、生徒指導課、保健体育課、福利課、財務課、生涯学習推進課、文化行政課、県立教育センターの順で、新規事業や重点事業について説明があった。
- なお、燕市に関係した新規事業では、義務教育課の「小中高キャリア教育パイ

ロット事業」がある。この事業は、校種を超え継続したキャリア教育を実現するため、小・中学校が高等学校とともに地域の特色を活かした教育活動に取り組み、その先進的な実践や成果を県内に広く周知するというもので、県内4地区でモデル事業として行い、分水高等学校と分水地区の小・中学校が県の指定を受けている。

3 結びに

- コロナ禍の中で、新年度が始まった。感染経路が不明なケースも増えている状況を踏まえると、私も含め、職員一人ひとりがプライベートにおいても感染予防に細心の注意を払う必要があると考えている。教育委員会事務局職員をはじめ、学校や園の教職員に対して、繰り返し注意喚起を行っていきたいと考えている。

(3) 寄附報告

1 件の寄附について

〈No. 1 について岡部学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

2 件の後援申請について

〈No. 1、2 について岡部学校教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 2 号 新規共催・後援申請について

1 件の後援申請について

〈4月の定例教育委員会において継続審査となっていた

No. 1 について岡部学校教育課長が再度説明〉

○委員（斎藤 純郎）

県内でも複数の自治体が後援を承認し、申請団体の地元である姫路市でも承認していることから、承認してよいと思う。

審議の結果、全員異議なくNo. 1は承認された。

6 議案

議案第 23 号 学校薬剤師の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 23 号は原案通り議決された。

議案第 24 号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 24 号は原案通り議決された。

議案第 25 号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会委員の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

Good Job つばめ推進事業に協力してくださっている皆さんには感謝している。引き続き協力していただけるよう実行委員会から働きかけてほしい。

審議の結果、全員異議なく議案第 25 号は原案通り議決された。

議案第 26 号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 26 号は原案通り議決された。

議案第 27 号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 27 号は原案通り議決された。

議案第 28 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 28 号は原案通り議決された。

議案第 29 号 燕市社会教育委員の委嘱について
〈石田社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 29 号は原案通り議決された。

議案第 30 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について
〈石田社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 30 号は原案通り議決された。

7 その他

(1) 令和 3 年第 2 回燕市議会臨時会について (教育委員会関係抜粋)

1) 専決処分の報告 (令和 2 年度燕市一般会計補正予算) について

2) 令和 3 年度燕市一般会計補正予算について

〈岡部学校教育課長が説明〉

3) 吉田トレーニングセンター (ビジョンよしだ) の新しい料金体系 (素案)
について

〈石田社会教育課長が説明〉

○委員 (斎藤 純郎)

アンケートの結果を受け、平日夜の利用時間を延ばしたり土曜日の午前中を開館したりするなど、利用者のニーズに合わせることで施設の維持管理費が従来よりも高くなる。

その中で、小中学生以下の年間パスポート (全館) の金額は低く抑え、高校生以上の年間パスポート (全館) の金額は現在よりも高くなるということによいか。

○社会教育課長 (石田 進一)

全館パスポートに限って言えばその通りであるが、実際は、全館を利用する人は少なく、全館に比べ料金の安いトレーニングルームのみ等、機能別のパスポートの購入が多いと思われるため、事実上の料金は安くなると考える。

○委員 (斎藤 純郎)

施設の維持管理費が上がり、全体の収入が今よりも下がる。それを埋めるため、利用者のニーズに合わせた運営をすることで利用者の増加を目指すという考え方でよろしいか。

○社会教育課長（石田 進一）

その通りである。開館時間の延長により維持管理費は若干増加するが、それは利用者を増やすことでカバーできると考えている。

○委員（斎藤 純郎）

資料の「（参考1）比較料金表の作成」について、この表の料金だと利用者の皆さんからの了解が得られず、利用者の減少につながると考えられるため、工夫を重ねて新しい料金体系が作られたということか。

○社会教育課長（石田 進一）

その通りである。

○委員（中野 信男）

様々な面から検討をしていただいていると感じる。

利用者の増加については、ビジョンよしだの利用者がどのような理由で利用しているのか掘り下げるとよいと思う。（立地、トレーナーの有無、施設の新しさなど）

○社会教育課長（石田 進一）

ビジョンよしだにしかない良さを活かしながら、利用者の増加策について検討していこうと思う。

4) 閉園後の地蔵堂保育園・笈ヶ島保育園の利活用について

〈白井子育て支援課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

保育園の統合を進めていただき、放課後等デイサービスという新しいニーズに対応できる用地ができてよかった。この用地は分水地区の中心部ということもあり、利用価値が高いのではないかと思う。

笈ヶ島保育園について、分譲地造成の条件付き一般競争入札により建物付きで売却したいということだが、市は解体せずに購入したところに解体してもらおうということ

か。

○子育て支援課長（白井 健次）

その通りである。公が解体するより民間が解体したほうが安価になるという参考事例があるため、こういった方法で検討をしている。

（２）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について
〈岡部学校教育課長が説明〉

小林委員を審査員に選任した。

（３）「危機管理マニュアル（異物混入・食中毒・ノロウイルス）」の
改訂について
〈岡部学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

１ 異物等の混入発見時の対応（１）金属・ガラス・硬質プラスチック類等の危険な異物の場合 について、「①児童生徒の健康観察を行う」と「⑥児童生徒が受傷した場合」の記載個所が離れすぎていて読みづらさがあったので、並びを変えたほうがよいと思う。

○学校教育課長（岡部 清美）

参考にさせていただく。

○委員（斎藤 純郎）

万一の際の対応がとりやすいように、マニュアルを分かりやすく変更していただいたと思う。事故を起こさないよう現場をはじめとする教育委員会の職員には対応してもらっているが、事故が起こった際は慌ててしまうと思う。そういった時に十分に対応できるようにマニュアルを整備してもらったことは大変意義がある。

８ 閉 会 午後３時０５分

燕市教育委員会会議規則（平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号）第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 5 年 5 月 3 / 日

教 育 長 山田 公一

教 育 委 員 山 崎 克 洋

教 育 委 員 中 野 信 男

教 育 委 員 秦 久 美 子

教 育 委 員 齋 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

会 議 録 作 成 職 員 志 賀 覚 子